

第22回「おひさまの会」の報告 「子どもの心の発達について」

講師：元横浜市中央児童相談所 心理判定員
西田 恒太先生

日時：2013年2月23日 2:00～4:00

場所：NPO教育サロン



講師：西田 恒太先生

今回は元横浜市中央児童相談所で長年、心理判定員をされていた西田恒太先生をお迎えして、「子どもの心の発達」について有意義なお話しを聞く事ができました。

《講師の先生のお話の主な内容》

- 子どもの心の発達はその年齢・年齢の時期に親子・社会とのかかわりの中でどのように過ごしてきたかによる。親子の関係の中で性格が形成されるので、特に幼児期・児童期の3歳まではとても重要である。過去と今を結んだ延長線上に未来がある。
- 子どもは親の心の鏡、赤ちゃんの時から母親の心臓の音や母親の声を聞き、親の心を読んで育ってきている。
- お母さんは自信を持って欲しい。お母さんが不安でいると子どもも自信をなくす。
- まず、子どもは母親に愛着を持つ。歩き出すようになると父親にも愛着を感じ始める。そのためには両親が仲がよいこと事が大事である。母親と仲よい人だから父親も安心と思える。

《参加者の感想》

- 子どもの成長過程を詳しく伺い、改めて子育てをする親としてすべき事の大切さを学びました。関心のある子どもや親たちへ声かけし、少しでも安心感をもたせられるように助言をしていきたいと思えます。
- 大変勉強になると同時に有意義で楽しい会でした。胎内に宿った瞬間から赤ちゃんとの両親の絆が始まり、成人しても親子の関係は大切なんだということが実感できました。

記録：安田 佐藤